

2018年03月28日

## 【格付維持】

## 青山商事

発行体格付： A [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

紳士服専門店チェーンの最大手。ビジネスウェア事業が主力で、「洋服の青山」など全国に展開する店舗は知名度が高く、幅広い年齢層から一定の支持を得ている。スーツの販売数量・金額では2位以下を引き離している。生産年齢の人口減少などから国内紳士服市場の縮小は避けられない見通しだ。スーツのカジュアル化が進むなど、消費者の利用機会や購買行動も変化しつつある。業界全体として、以前より収益を高めにくい状況にある。ただ、主力商品は生産工程や在庫管理で手間がかかり、参入障壁が比較的高く、他の小売業態を含む競合環境にも大きな変化はない。青山商事の業界内での地位や堅固な営業基盤が揺らぐ可能性は低い。客数減少が続いている点は気になるが、採算重視の方針の下、販売施策の成果で単価は維持できている。規模のメリットが効きやすい業界において、コスト増加時の吸収力も備え、収益の安定性が大きく揺らぐ懸念は小さい。カジュアル事業は採算改善が課題だが、商品戦略の見直しなどを実施しており、連結収益の足かせリスクは小さい。一方、投資先行中の総合リペアサービス事業は、将来的にビジネスウェア事業とのシナジーが見込める。

過去の利益蓄積で自己資本は厚く、債務負担も重くない。株主還元を強化しているが、営業基盤の強さや収益の安定性からみて中期的に改善させていくことは十分可能だ。企業買収を実施した場合の耐久力もある。

## 【格付対象】

発行者：青山商事(証券コード：8219)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A (維持)	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	西元 純
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年03月23日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015. 05. 01] 小売り [2016. 12. 01]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	青山商事
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。 格付関係者信用格付の前提、意義及び限界
<p>R&amp;Iの信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&amp;Iの意見です。R&amp;Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&amp;Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。</p> <p>R&amp;Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&amp;Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。</p> <p>利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&amp;Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。</p>	